

基本目標5

持続可能なまち

誰もが安心して便利に暮らせる
機能的なネットワーク型のまち基盤を創る。



安心できる地域福祉の推進

めざす姿

地域共生社会の実現に向けた基礎を築き、
 地域福祉活動を継続的に実施するため、
 その役割を担う人づくりを目指すとともに、
 公助※の役割の着実な推進に努め、地域福祉を支えるまち



諫早市社会福祉大会

※公助：市町村などの公的機関による援助

市民の声

隣近所で助け合えるような意識を高める取組が重要だと思ふ。

支援を必要とする人に寄り添えるよう、地域福祉を支える人材の育成と支援体制の強化が必要だと思ふ。



施策の展開①

地域福祉を担う
 人づくりと
 支える仕組みづくり

【主な取組】

- ◎ 民生委員・児童委員への支援
- ◎ ボランティア活動等への支援
- ◎ 生活困窮者の自立に向けた支援
- ◎ 地域福祉活動の拠点の場づくり
- ◎ 関係団体との連携強化
- ◎ 重層的な支援体制の整備
- ◎ 権利擁護の推進

施策の展開②

共に支え合う
 地域づくり

【主な取組】

- 地域における見守りの推進
- ◎ 地区(校区)社会福祉協議会活動の推進

施策

5-2

健康づくりと保健・医療の充実

めざす姿

市民の健康維持・増進が日常生活に根付き、地域医療体制が継続され、安心して暮らせるまち



相談による健康の維持・増進

市民の声

健康診断や病気を未然に防ぐ、予防の取組を一層充実させてほしい。

市民がより手軽に健康づくりに取り組める環境を整えることが必要だと思う。



施策の展開①

健康づくりと保健予防の推進

【主な取組】

- ◎ 健康いさはや21*の推進
- ◎ 食育の推進
- 生活習慣病予防の推進
- ◎ 健康教育・健康相談の実施
- ◎ 健康診査の実施

施策の展開②

保健・医療の連携

【主な取組】

- ◎ 国民健康保険の適切な運営
- 安心安全な地域医療体制の継続

*健康いさはや21：市民の生活習慣病予防と健康寿命の延伸を目指す市民総ぐるみの健康増進計画

明るく活力ある長寿社会の実現

めざす姿

高齢者が住み慣れた地域で、
自分らしい暮らしを、安全・安心に、
人生の最後まで続けられるまち



若返り体操教室

市民の声

高齢者が地域でその力を発揮できるよう、活動の場や社会参加の機会をもっと増やしてほしい。

高齢者が役割を持って地域に関わり、生きがいを感じられるような仕組みづくりが必要だと思う。



施策の展開①

介護サービス基盤の整備

【主な取組】

- ◎ サービス提供・支援体制の構築
- ◎ 介護人材の確保、定着基盤の構築
- ◎ 職場環境改善、生産性向上の推進

施策の展開②

高齢者が活躍できる地域づくり

【主な取組】

- ◎ 介護予防教室の開催
- ◎ 住民主体の介護予防活動の支援
- ◎ 集いの場や生活支援の住民活動を情報発信
- ◎ 高齢者の社会参加の促進



介護予防と生活支援の語らん場



フレイル予防教室



ふれあいいきいきサロン



介護予防サークル



施策の展開③

高齢者が安心して暮らせる地域づくり

【主な取組】

- ◎ 相談窓口の機能強化
- ◎ 認知症に関する情報発信
- ◎ 認知症サポーターの養成
- ◎ ACP (アドバンス・ケア・プランニング)※の普及
- ◎ 在宅医療・介護に関する情報発信と相談支援
- ◎ 多職種の対応力向上と協働支援
- ◎ 地域での支え合い体制づくり
- ◎ 住まい確保のための支援

施策の展開④

生きがいを持てる地域づくり

【主な取組】

- ◎ ふれあいいきいきサロンの活動支援
- ◎ 集いの場や生活支援の住民活動を情報発信(再掲)

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)：いつか来る自分の最後に備え、自分が望む医療やケアについて事前に考え家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組

自立と共生の障害者支援

めざす姿

障害のある人が、誰一人取り残されることなく、あらゆる社会活動に参加・参画することができるまちづくりに努め、障害のある人もない人もそれぞれの役割と責任を共に果たせる共生のまち



共生イベントでの一コマ
～手話に親しむ～

市民の声

もっと若い人に障害を理解してほしい。

就労支援をもっと積極的にやってほしい。

障害者でも明るく楽しいまちであってほしい。



施策の展開①

シームレスな (切れ目のない) 支援の展開

【主な取組】

- ◎ 自立支援給付等による日常生活の支援
- ◎ 障害のある児童に対する教育・療育の充実
- ◎ 医療・保健・福祉の連携の推進

施策の展開②

社会参加の促進

【主な取組】

- ◎ 安心・安全な生活環境の整備
- ◎ バリアフリーの推進
- ◎ スポーツ・芸術・文化活動の振興
- ◎ 雇用・就労の推進

施策の展開③

支えあいのしくみづくり

【主な取組】

- ◎ 障害に対する理解促進
- ◎ 防犯・防災体制の確立

施策

5-5

総合的な防災体制の強化

めざす姿

自助・共助・公助※の概念のもと、相互が連携しながら被害を最小限に抑えるため、いつ起こるかわからない災害の発生に備えた防災・減災の取組による、災害に強いまち



流域治水による防災・減災

※自助：自分自身の身の安全を守ること 共助：周囲の人たちが協力して助け合うこと 公助：市町村や消防など公的機関による救助・援助

市民の声

本明川流域やハザードマップで危険とされる地域には、重点的な災害対策が必要だと思う。

防災無線が屋内で聞こえにくいので、放送内容の改善や屋内でも情報が届く手段の整備を行ってほしい。

災害を未然に防ぐためのインフラ整備を計画的に進めてほしい。

安心して避難できるよう、設備が整った避難所を充実させてほしい。

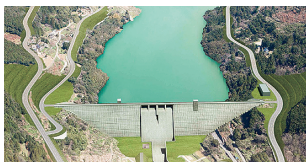


施策の展開①

治水対策の促進

【主な取組】

- ◎ 流域治水による減災・防災の実現
- ◎ 計画的な排水施設の改修・維持管理
- ◎ 河川改修の推進
- ◎ 河道浚渫の推進
- ◎ 本明川ダム建設事業の整備促進



本明川ダム(イメージ)

施策の展開②

危機管理体制の強化

【主な取組】

- ◎ 地域住民・団体等の防災意識を高め、自発的な防災活動への支援による地域防災力の向上
- ◎ 避難所環境や備蓄品の充実
- ◎ 防災分野でのデジタル技術の活用
- ◎ 消防団の組織強化及び装備充実
- ◎ 有事に備えた国民保護体制の充実
- ◎ 災害弱者や男女共同参画の視点に立った防災の推進

施策の展開③

土砂・海岸災害を未然に防ぐインフラ※整備

【主な取組】

- 急傾斜地対策の推進
- ◎ 海岸災害の予防保全



急傾斜地崩壊対策

※インフラ：産業や社会生活の基盤となる施設

交通安全・防犯意識の推進

めざす姿

交通事故や犯罪、消費者被害などが
起こりにくい環境づくりを推進し、
誰もが安全・安心に暮らせるまち



通学路における交通安全の推進

市民の声

交通ルールを守る意識を高めるため、日常的な呼びかけや啓発活動を強化してほしい。

夜間の安全確保のための取組を推進してほしい。

安全運転や歩行者優先の意識を広め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める必要があると思う。

見通しの悪い場所や人通りの少ない道での安全対策を行ってほしい。

施策の展開①

交通事故のないまちづくり

【主な取組】

- ◎ 関係団体と連携した交通安全思想の普及や啓発活動による交通安全意識の向上
- ◎ 通学路の交通安全対策の推進
- ◎ 交通安全施設の維持・整備

施策の展開②

犯罪のないまちづくり

【主な取組】

- 犯罪のない安全な地域づくりの推進
- ◎ 防犯情報の発信による犯罪被害の未然防止
- 子どもの安全見守り活動

施策の展開③

相談体制の充実

【主な取組】

- ◎ 消費者被害の救済と被害防止
- ◎ 各種専門家等による相談の実施

施策

5-7

安全・安心な暮らしを支える 基盤づくり

めざす姿

安全・安心に暮らせる
強靱な生活基盤を築き、
未来にわたる安心と豊かさを
市民が享受できるまち



伊木力浄水場

市民の声

街がきれいで、賑やかな場所と静かな場所が共存している点が魅力だと思う。

住みやすさを感じるまちの魅力を活かし、生活基盤の整備を今後も進めてほしい。

公共施設が清潔に保たれていることは、市民に安心感を与えるため、今後も維持改善を続けてほしい。



施策の展開①

上水道の耐震化事業の推進と経営の安定化

【主な取組】

- 水道施設の更新・整備
- 管路の更新・耐震化
- ◎持続可能な料金体系の検討

施策の展開②

生活排水対策の推進と持続可能な事業運営

【主な取組】

- 公共下水道管渠の整備
- ◎処理場等施設の更新・耐震化
- ◎農業集落排水施設の公共下水道への統合
- ◎維持管理業務への包括的民間委託導入
- ◎水洗便所改造資金利子助成
- 浄化槽設置費の補助

施策の展開③

生活基盤の整備

【主な取組】

- ◎生活基盤を支える公共土木施設等の維持補修の推進
- 空き家等の適正管理の推進
- ◎バリアフリー・安全型リフォーム支援
- 市営住宅の適正管理
- 公共施設バリアフリー率先整備の推進

暮らしと経済を支える 交通基盤の整備

めざす姿

人や物の移動を円滑化し、
誰もが暮らしやすく、働きやすく、
訪れやすいまち



市民の声

通勤時間帯の交通混雑を解消するため、道路整備を進めてほしい。

市内全体の道路ネットワークを見直し、移動しやすい環境づくりが必要だと思う。

車道と歩道の整備を充実させ、歩行者と車の双方が安心して通れるようにしてほしい。

バスや電車の本数が少なく、車がないと不便なので、利用しやすい公共交通の充実を望む。

地域コミュニティバスや乗合タクシーなど、多様な移動手段を整備して生活の足を確保してほしい。

施策の展開①

道路ネットワークの構築

【主な取組】

- ◎ 高規格幹線道路の整備促進 (島原道路、有明海沿岸道路)
- ◎ 一般国道及び一般県道の整備促進
- ◎ 市街地の交通渋滞対策の推進
- ◎ 都市計画道路の整備推進
- ◎ 地域間を連絡する市道の整備推進

施策の展開②

市民生活における 移動手段の確保

【主な取組】

- ◎ バス路線の維持・確保と見直し
- ◎ 乗合タクシーなどの運行による地域の足の確保
- ◎ 地域鉄道維持のための事業者支援
- ◎ 既存の公共交通の廃止などの場合における代替手段となる移動サービスの導入



整備中の島原道路(尾崎交差点付近)



コミュニティバスの運行(小長井地域)

市民の声

特定エリアの交通渋滞解消に向けて、道路の見直しや信号制御の改善など効率的な交通誘導策を進めてほしい。

西九州新幹線の直通運転を早期に実現できるように、国や県と連携して整備を進めてほしい。



施策の展開③

交通渋滞対策の推進

【主な取組】

- ◎ 渋滞発生要因や対策に関する調査研究
- ◎ 官民連携による渋滞緩和策の推進

施策の展開④

九州新幹線西九州ルート(新鳥栖～武雄温泉間)のフル規格による整備促進

【主な取組】

- ◎ 早期整備に係る要望活動
- ◎ 関連イベントの開催



新幹線関連イベント

施策の展開⑤

港湾の整備

【主な取組】

- ◎ 海上輸送能力と漁業活動の向上に資する港湾施設の整備



港湾整備(小長井港)